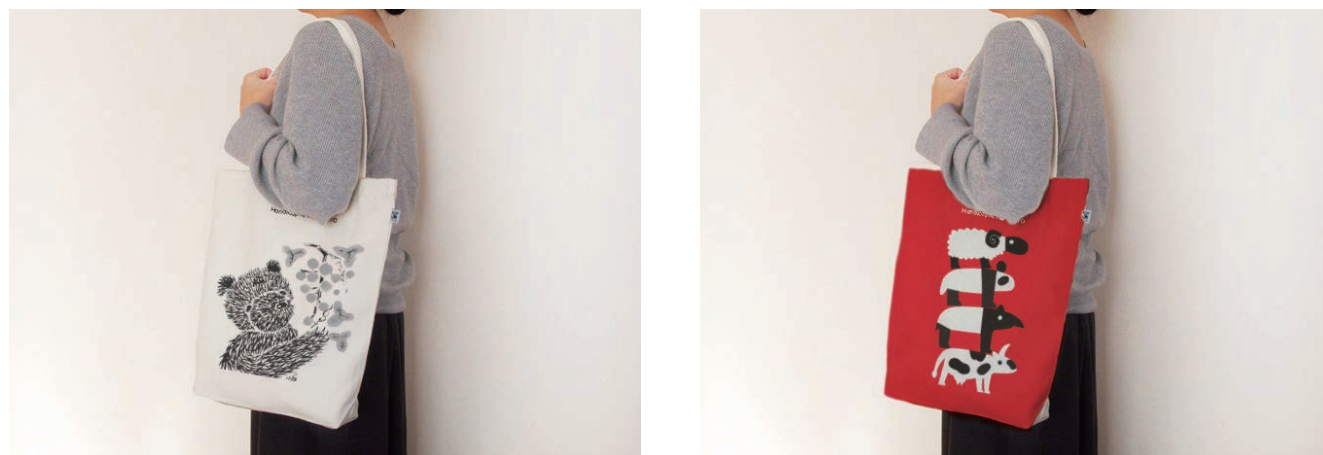


商品について



「国際フェアトレード認証」及び「グローバルオーガニックテキスタイル基準（GOTS）認証」ラベルが付いています。

（素材）10 オンスキャンバス地（帆布）

（サイズ）タテ約 37cm、ヨコ約 34cm、マチ約 8cm、持ち手約 61cm

（重量）約 170g

（小売価格）2,500 円（税別）

●東京都と共同開発

「Handicap Art & TOKYO」ショルダートートは、平成 29 年度東京ブランド共同企画商品です。

東京都は、旅行地としての東京を強く印象づける「東京ブランド」の確立に向けた取組を行っています。

その一環として、国内において東京ブランドの普及・浸透を目指すロゴ・キャッチコピー「& TOKYO」を組み合わせた商品案が募集されました。

当社は、平成 29 年度、その 1 社として選定され、東京が作りだすたくさんの「つながり」を表現した「& TOKYO」を魅力的に活用した商品を東京都と共同して開発しました。

それが、この「Handicap Art & TOKYO」ショルダートートです。

<https://andtokyo.jp/>

株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ

【本社】

101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-2-1 PLATFORM SQUARE

直通：03-4570-0816 <https://www.fairtradecottoninitiative.com/>

ウェブショップ <http://scoo.co.jp/>

【代官山ショールーム】

150-0033 東京都渋谷区猿樂町 2-4-1 ROOB2-2F-C ソーシャルスクエア代官山 内

代表：03-6416-3666



Organic & Co.®

「かかわる人たちが笑顔になれるコットン製品を社会に」



【上段左から】

「夢のお寿司」水ノ上栄優、「梅とメジロ」渡部一喜

【下段左から】

「くまごろうと葡萄」田幸樹枝、「白黒どうぶつのプレーメン」岡村隆矢、「またたび」平山こうた

「Handicap Art & TOKYO」ショルダートート
東京ブランド共同企画商品（平成 29 年度選定）

当社は日本で唯一、国際認証を取得した
フェアトレード&オーガニックコットンを使用した製品を企画・製造しています。

ビジネスを通じて広めることで、
貧困や環境問題などの解決を目指しています。

障がい者アーティスト、作り手、買い手を笑顔にする

才能ある障がい者アーティストの可能性を拓くアートビリティ

©Artbility アートビリティは社会福祉法人東京コロニーが運営する障がい者アートライブラリーです。



製作活動に励む岡村陸矢さん。
今回のバッグ「白黒どうぶつのプレーメン」もこうして製作されました

色遣いやタッチが目をひくイラストは、社会福祉法人東京コロニーの事業であるアートビリティ（Artbility）のアートライブラリー（登録アーティスト約200名、作品約5,000点）から、5作品をセレクトし、世界的な賞を数多く受賞しているデザイナー福島治氏にデザインをお願いしました。

アートビリティとは

設立当時から「才能に障害はない」を合言葉に、障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。

アートビリティのホームページはこちら <http://www.artbility.com/>

作り手の未来を開き、使い手にも優しいフェアトレード&オーガニック

フェアトレード、という言葉をご存じですか？

フェアトレードとは発展途上国で生産される商品や製品を、安く買い叩くのではなく、適正価格で買い取ることで、立場の弱い生産者や労働者を守る取り組みを言います。これにより児童労働や環境破壊、貧困対策など様々な問題が解決するといわれています。



今回の商品の原料である綿花を購入しているインドの農園

私たちの身近にはたくさんのコットン製品がありますが、虫のつきやすいコットンを安くたくさん栽培するためには、大量の農薬を散布する必要があります。そのため、扱う人の健康被害や、環境破壊の問題も生んでいます。

コットンのキャンパス地には、扱いやすくするために表面に化学的な加工処理をすることが多いのですが、私たちは、オーガニックの風合いが生かせるように、化学処理を施すことなく使用しています。そのため、厚めの生地でありつつも、やわらかい手触りと綿花のもつ本来の風合いが楽しめます。

綿花は、紡績され、織布された後に、裁断されてプリントを施し、縫製工場でバックになります。

今回のバック本体を制作する北インドの工場は創業80年あまり。

労働環境や賃金などがフェアトレード国際基準に沿って整えられているため、キャリアの長い職人が多く、高い意識と技術を持って、モノづくりに励んでいます。



国際フェアトレード認証を取得したインドの縫製工場働く今回の製造を協力してくれたみなさん

インドはもっとも児童労働が多い国の1つと言われています。

安い賃金で働かせることができる子どもたちは使用者にとって都合がよく、家庭でも稼ぎ手として期待されるために、学校に行きたくても通うことができません。精神的・肉体的な負担はもちろん、適切な時期に教育を受けられないことは、貧困の連鎖を生みます。

そんな現状を打ち破る可能性をもつのがフェアトレード&オーガニックなのです。

フェアトレードの仕組みを遵守すれば、1人あたりに支払える賃金が上昇し、結果的に児童労働の減少につながります。

価格競争だけに巻き込まれることがなくなるために、生産者が提供できる製品や原料の質もあがるのです。

今回のバックは綿花の栽培から紡績、織布、プリント、縫製に至るまで、フェアトレード&オーガニックの基準を満たし、国際的な第三者機関によって認証されています。



フェアトレードプレミアムで建設された学校で学ぶ笑顔の子どもたち